

所在地: 南構内:大阪府門真市松生町1-15 北構内:大阪府門真市松葉町2-15



設立: 1997年7月

ISO14001取得: 1995年11月 ISO14001最新更新: 2010年8月

主要製品: DVD関連機器、PAV関連機器、プロジェクタ関連機器、アビオニクス関連機器

環境コミュニケーション: 10年度

情報開示: 1件

工場見学:

地域貢献活動:

11件

問合せ: AVC社 環境推進グループ

TEL: 06-6905-8356

ごあいさつ

門真地区では、DVDレコーダー、液晶プロジェクター、航空機AV関連機器や放送用AV機器の開発・生産及びテレビ、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどのAV商品の設計・開発をしています。「パナソニックグループ環境宣言」に則り、「地球環境との共存」をあらゆる事業活動の前提に高循環型経営を実践し、地球環境の保全に取り組んでいます。パナソニックグループの中でもいち早く環境マネジメントシステムを構築し、1995年11月には「BS7750」(後にISO14001になる)の認証を取得しました。環境に配慮した「省エネ・3R(省資源、再使用、リサイクル)・クリーン」商品開発の取組み及び、生産工程におけるあらゆる投入量と排出量の最少化に取組み、環境負荷を低減し「地域社会や環境と共存する」という目的に向かって、グリーンプロダクツ(GP)、グリーンファクトリー(GF)の下記項目に重点を置いた取組みを推進しています。また、パナソニックエコリレーの一環で、生態系保全活動として、淀川クリーン作戦や外来水生生物駆除活動にも参加しています。



環境責任者

藤木 三久

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
CO2排出量 目標:24.073t以下	製造ライン照明の高効率(Hf)化の導入、クリーンルーム空調への省エネ機器組込みによるエネルギー使用量の削減 CO2排出量22.804tで目標達成
産業廃棄物・有価発生物 発生量 前年度比3%削減 リサイクル率 99.9%	産業廃棄物・有価発生物 発生量 前年度比3.55%削減(61.8t) リサイクル率 100%で目標達成
化学物質 重点削減対象物質 排出・移動量 前年度比2%以上削減	環境に与える影響が少ない物質への代替等の改善実施 7.9%削減(0.4t)で目標達成

製品・環境配慮ポイントの紹介



製品名称
地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
プラズマテレビ TH-P42VT3
・フルハイビジョン3D対応
・ネイティブコントラスト500万:1
・SDメモリーカード&USBハードディスク
録画対応
・SD静止画再生

製品の環境配慮ポイント
発光効率を高めた3D対応
「フルブラックパネルII」を搭載し、前年度モデル
比で年間消費電力量を約28%削減



製品名称
DMR-BZT900
ディーガ最高峰の3D高画質、高音質のプレミアム
仕様、最大4番組同時録画(3D対応・3チュー
ナー)
・HDD: 3TB(3,000GB)
・長時間録画モード:約4,050時間
・録画番組を『ケータイ』で持ち出して楽しめる
・2番組同時録画:15倍フルハイビジョン録画

製品の環境配慮ポイント
・省エネ
エコナビ対応(ムダを見つけて自分でエコする)
待機時消費電力: 0.05W
(クイックスタート『切』状態)
年間消費電力量:約35.0kwh/年
(当社2010年度の従来機種DMR-BWT3000比
9%削減)
年間電気代:約770円

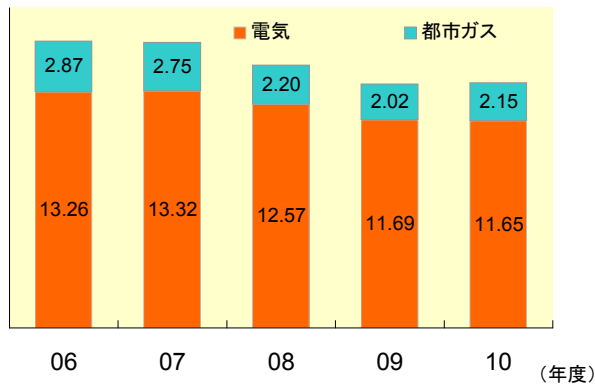


製品名称
3ChipDLP(R)プロジェクター PT-DZ8700
(業務用プロジェクター)
トータル運用コストの削減
・長持ちランプシステム 長寿命4,000時間
(エコモード)
・10,000時間フィルター交換不要なACF搭載
・複数台輝度コントロール
・設置もラクラク 一人で運べる
・高輝度(10,600lm)、高解像度(WUXGA:
1920x1200)、最軽量(24kg)
・カテゴリ最静音 37dBを実現

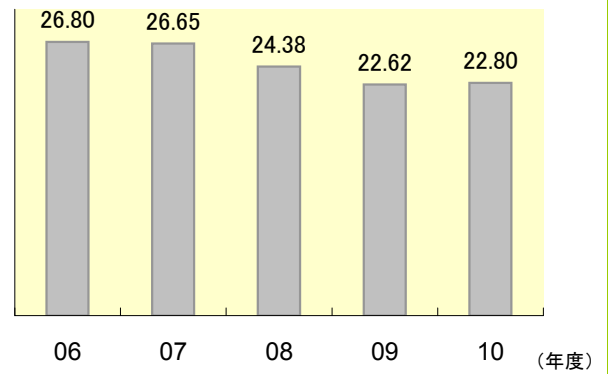
製品の環境配慮ポイント
省エネ、省資源化
・当社従来機種:TH-D9500に比べ消費電力
約59%削減
・質量を約75%削減しました。
・2010年度ダントツGP認定商品

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010年4月1日~2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



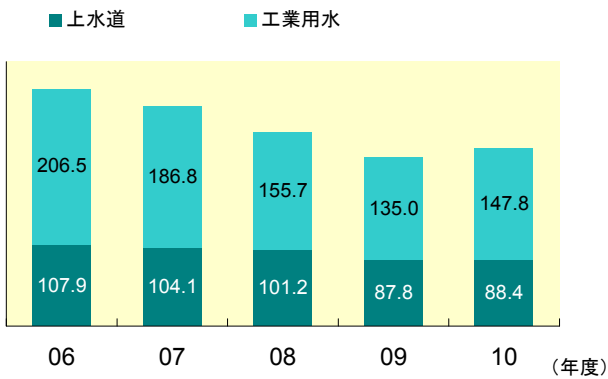
CO2排出量 単位:千t



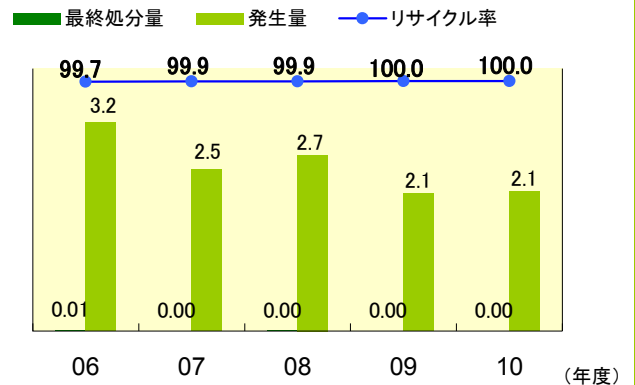
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出源単位」を使用して計算。但し、エコイディア宣言との整合性を保つため、2006年度は0.425kgCO2/kWh、2007年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量 単位:千m³

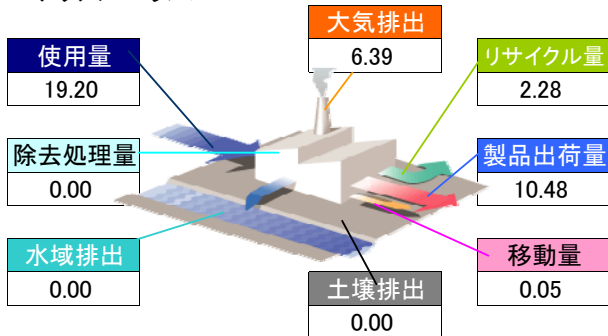


産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%

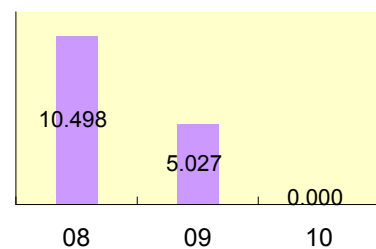


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項
報告すべき事項はございません。

パナソニックグループの工場化学物質管理について
http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A					
NOx	ppm	Gas吸収式冷温水機BE-13	150.00	55.00	28.00	31.00	2回/年
		Gas吸収式冷温水機1-22	150.00	55.00	33.50	35.00	2回/年
		Gas吸収式冷温水機BE-15	150.00	55.00	38.00	40.00	2回/年
ばいじん	g/Nm ³	N/A					

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A					
BOD	mg/l	N/A					
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	65.00	65.00	54.20	58.20	1回/年
		夜 敷地境界	55.00	55.00	52.60	55.00	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界	65.00	65.00	36.75	40.00	1回/年
		夜 敷地境界	60.00	60.00	30.00	37.00	1回/年

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

環境方針

パナソニックグループ環境宣言

私達人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている。
我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球がバランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う。

AVCネットワークス社 環境方針

AVCネットワークス社は「パナソニックグループ環境宣言」に則り「地球環境との共存」をあらゆる事業活動の前提に、高循環型経営を実践し、地球環境の保全に取り組む。

AVCネットワークス社の事業活動は、お客様に夢のある商品をお届けし、世界の人々の生活向上と豊かで楽しい生活を創造する音響、映像、情報関連機器の研究・開発・製造・販売・サービスを担当している。

AVCネットワークス社は、環境保全と汚染防止の重要性を認識し、地球環境・社会環境・顧客環境に配慮・対応した事業活動を以下の方針に基き、全従業員で実践し、社会的責任を果たす。

- AVCネットワークス社は、全ての事業活動、製品及びサービスに関わる環境への全ての影響を認識し、地球環境保全活動の強化と汚染防止を推進するために、環境マネジメントシステムを構築・維持し、全員活動により継続的改善を図る。
- AVCネットワークス社各事業場が立地する地域における全ての有効な法律・規則・条例・協定を含む法的要求事項及び受入を決めたその他の要求事項を遵守するために、自らの規程を確立し遵守する。
- AVCネットワークス社の全ての事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面の影響評価結果から有意な環境側面を特定し、その中から下記の重点課題に関する取組みを推進する。
 - CO₂削減貢献の取組み
 - 省エネで商品のエコを徹底強化し、他社との差別化を推進
 - 省エネトップランナー工場の構築
 - 資源循環の取組み
 - リデュース・リユース・リサイクルの3R設計の推進
 - 生産での廃棄物発生の抑制と最終処分量(埋立)ゼロ化の推進
 - 環境負荷の高い化学物質の削減の推進
 - 地球市民活動の取組み
 - 一村一品活動(エコリレー)の推進
 - 従業員への環境ボランティア活動の情報提供を実施し、エコライフ実践者の拡大推進
- この環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、内外の変化が発生した場合は見直しを行う。
- AVCネットワークス社は、全従業員又は構内へ常駐し働くすべての人へ環境に関わる認識を高めるため、定期的に教育・訓練・要求事項の伝達を実施する。
- この環境方針については、文書・パンフレット等にて全従業員又は構内へ常駐し働くすべての人へ周知を図るとともに、一般の方々へも公開する。

2011年 5月27日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

社長 津賀 一宏



環境負荷削減の取り組み事例



NO5冷温水機更新

吸収式冷温水機(ガス)+水冷チラー(電気)の組み合わせによるCO2削減取組

【削減効果】

吸収式冷温水機1-4号機ガス使用量(2009/5～10) ガス 141,290(m3)

CO2排出量 324.61トン

吸収式冷温水機1-4号機ガス使用量(2010/5～10) ガス 55,894(m3) 電気227,143(kWh)

CO2排出量(ガス+電気) 221.1トン

CO2排出削減量 △102トン



食堂厨房に節水蛇口を設置

12棟厨房の調理場、下処理場の蛇口35ヶ所を節水蛇口に交換した。蛇口全体の37%を節水蛇口に置換し、200m³/月の市水使用量を削減しました。

【節水蛇口の削減効果】

・効果確認期間 4月の1ヶ月間

【削減水量】

①調理場(24ヶ所設置)

6.75m³/日 × 20日 = 135m³/月

①+②

②下処理場(11ヶ所設置)

3.25m³/日 × 20日 = 65m³/月

135m³/月 + 65m³/月 = 200m³/月

200m³/月 × 12ヶ月 = 2,400m³/年

環境コミュニケーション事例



LOVE 遊 淀川上流クリーン作戦2010

日時:2010年7月18日(日)10:00～12:00

場所:淀川河川敷公園 枚方地区

NPO主催の河川清掃ボランティア活動に従業員とその家族(360名)が参加しました。

一昨日までの雨で淀川の水位が少し高く近づく事が出来ず、河川敷公園内のみの清掃となりました。

上流は「天の川」まで、下流は「枚方大橋」までの範囲を約1時間かけて行い、清掃終了後、子供連れの方は、淀川に棲む魚の展示コーナーや「スーパーボールすくい」などに参加されていました。



淀川ワンドを守れ！民・学・官参加による外来水生植物一斉駆除活動

日時:2010年4月24日(土)、7月18日(土) 10:00～12:00

場所:淀川 庭窪ワンド

大阪の中心部を流れる淀川は、シンボルフィッシュのイタセンパラ(国内希少野生動物植物種・天然記念物)をはじめ、たくさんの水生生物が生息してきました。しかし、現在では外来水生生物の繁殖拡大などにより、そのシンボルを失いつつあります。そこで、淀川の生態系を代表するワンド、庭窪ワンドにおいて、地域住民、地元企業、地元大学・学校、淀川管内河川レンジャー、関係行政などが共同で、外来水生植物の駆除やゴミの清掃を行いました。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

環境に影響を及ぼす事故・緊急事態の発生の可能性を明確にし、設備・作業の緊急事態に備え可能な範囲で手続き規定類や防止用施設・器具を設け、環境影響を予防・軽減します。また事故・緊急事態に備え、実行可能な範囲で手続き規定類に従い、防止施設・装置・器具を用いて1回/年定期に模擬訓練を行い、環境影響の発生予防・軽減に努めます。

模擬訓練事例：吸収式冷温水機の抽気装置破損により、六価クロム含有の臭化リチウム水溶液が排水口から公共下水道へ流出した想定で実施

①緊急事態発見者は保安室に連絡する

②施設責任者は環境管理責任者に連絡

③設備破損箇所へウエスで応急処置する

④排水溝に行かないように流出した溶液を土のうでせき止める及び排水口配管を蓋する



⑥使用した土のう、吸着材等の撤収

⑤床に溜まった溶液を吸着材等で回収する

